

令和7年度第2回鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会 地域連携部会 会議録

- 日時： 令和8年2月18日（水）午後2時から午後3時
- 場所： 市役所地下1階 団体研修室
- 出席者： 遠藤善治（障がい福祉課長）、
三浦健（鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会会長）、
青木晃代（障がい者の働くを支えるチーム）、
馬場武士（地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム）、
山根清孝（障がい者のつながりを支えるチーム）、
竹内直人（障がい分野の情報を発信・啓発するチーム）、
小宮響子（精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム）、
武藤優子（医療的ケア児支援チーム）
- 欠席者： 菊地謙（鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会副会長）
- 事務局： 【鎌ケ谷市障がい福祉課】 高橋主幹
【鎌ケ谷市基幹相談支援センターえがお】 渡辺、坂巻、恩田、岩室
- 傍聴者： 0名
- 添付資料： ・式次第
・「地域連携部会」部会員一覧
・地域連携部会 テーマ別チーム会議参加者一覧
・令和7年度鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会の年間スケジュール(全体・実績)
・テーマ別チームでの検討整理（簡略版)
・各テーマ別チーム報告資料
① 障がい者の働くを支えるチーム
② 地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム
③ 障がい者のつながりを支えるチーム
④ 障がい分野の情報を発信・啓発するチーム
⑤ 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム
⑥ 医療的ケア児支援チーム
- ・本日の委員の出席者数と傍聴者数の報告
本日の委員の出席者8名、会議成立の定則数の過半数を超えている旨を報告
- ・部会長挨拶

1 地域連携部会について

事務局より資料「自立支援協議会の組織体制」を基に鎌ケ谷市障がい者地域自立支援協議会（以下「協議会」という。）地域連携部会について説明した。

2 各テーマ別チーム会議における検討状況の報告

各テーマ別チームのリーダーより検討状況を報告した。

(1) 障がい者の働くを支えるチーム

特例子会社で長年障がい者雇用に関わっていた障がい福祉課 湯浅氏をチーム会議に招き、インタビュー形式の会議を実施した。その様子を市のホームページに掲載している。障がい者雇用の現状を知るため、千葉労働局に対し障がい者雇用を実施している企業の情報提供を依頼している。就労系事業所ガイドブックについては、令和7年度版を更新作業中である。

(2) 地域資源を調査・研究しよりよい方策を提言するチーム

移動支援の研修について、「たからばこ」との協議により協議会予算の10万円は使わない研修となったが、昨年度の研修後の後追い調査を行い今年度の研修に向けて移動支援事業所のヘルパー募集についてアンケート調査を行う等、研修開催までの道筋を立てた。移動支援の通学利用の条件として「ひとり親」の部分を見直した。来年度は実際の利用状況を確認し移動支援特例枠について検討したい。

(3) 障がい者のつながりを支えるチーム

児童期から障がい福祉へ、障がい福祉から高齢者福祉への円滑な移行を支援するため「65歳（高齢者）」と「18歳（児童）」の2チームで検討した。65歳になる1年前の移行カンファレンス実施、保護者向けツールの必要性等、途切れない支援のためにできるアプローチ方法を検討した。来年度はフローチャート作成を具体的に検討したい。

(4) 障がい分野の情報を発信・啓発するチーム

今年度で3回目になる福福フェアを10月25日に開催した。フェア来場者のアンケート結果等を検証し、来年度以降も開催予定だが、どのように開催するのかアプローチの仕方等を考えていく。他チームとのコラボレーションも含め、イベント本来の目的である「情報発信」のあり方について再度検討する。

(5) 精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チーム

「つながるシート」等を実際に活用してもらうよう介護保険分野のケアマネジャー、医療機関、就労系事業所等に説明し周知した。「みんなにとっての新しい場づくり」を今後の課題とし、ニーズ調査と情報発信（周知）を具体的に検討する。その過程で他チームとの連携も考えている。ドキュメンタリー映画「どうすればよかったか」の上映を検討している。

(6) 医療的ケア児支援チーム

令和6年4月から蓄電池の購入に対する助成が開始となり、その周知のために特別支援学校、放課後デイサービス事業所等にチラシを配布し、市の広報の防災週間特集にも記事を掲載した。

医療的ケア児の実態調査を行い、対象者32名のうち9名から回答があった。回答の内容を精査した結果、医療的ケア児をとりまく体制を整える必要があり、協議体の設置や関係機関の連携体制について「提言書」を作成し協議会に提出する。

質疑応答

部会長

他チームとの連携を検討しているチームが多いので、何かご意見があればお願いしたい。

部会員

障がい者の働くを支えるチームは就労系事業所が多いので福福フェアへの興味関心が高い。障がい分野の情報を発信・啓発するチームとの連携を考えたい。

部会員

福福フェアについては継続する意向だが、障がい分野の情報を発信・啓発するチームで実施するのではなく関係機関が連携する協議体や別の団体を作り、より皆が参加しやすいものにした方が良いかもしれないと思っている。

部会員

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステム検討チームで考えている映画上映について、障がい分野の情報を発信・啓発するチームが福福フェアを開催する意図と重なっている部分があるように思う。

また、ニーズ調査や資源を知ることについては他チームとも協働できるのではないかな。

部会員

各チーム間の連携や協議会をどのように絡めていくかが悩ましいところである。

事務局

福福フェアについては、来週の協議会で委員の方にもアイデアをいただいたら良いと思う。

部会長

協議会には、障がい福祉分野ではない民生委員等が委員になっているので意見を出してもらうのは良いかもしれない。

部会員

今後どこにフォーカスするかにもよるが、資源やニーズの調査についてはチーム間の連携をした方が良いと思う。地域連携部会では活動報告だけでなくそういう連携の提案も持って参加したい。

部会長

地域連携部会は本来そういう場であるのでチーム間の連携に活用したい。8年も同じチーム体制でいくつもりでもなかったのでもそろそろワークショップを実施した方が良いのではないか。

部会員

同じ体制のままなので毎年やっていることがあまり変わらず、話し合いのペースも遅く成果がでていないように感じる。参加者のモチベーションも上がらない。

部会長

専門部会からチーム制に変更して活性化はされたが、立ち上げ当時の勢いがなくなっているように感じる。

事務局

来週2月26日の協議会で来年度のチーム体制をどうするか議題にしたいと思う。

3 次回鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会の議題について

事務局

令和8年2月26日開催予定の本会議の議題は、以下4点とする。

- ・テーマ別チームの体制について
- ・各テーマ別チームのリーダーより令和7年度の活動報告
- ・障がいを理由とする差別解消の取組と相談事例について
- ・障がい者計画、障がい福祉計画、障がい児福祉計画の策定について

→異議なし

部会長

ほかになれば、閉会とする。

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

令和8年3月4日

氏名 竹内直人 _____

氏名 小宮響子 _____